

ラフトンファイラーシリーズ

ラフトンファイラー

JIS A 6916

建築用下地調整塗材
(セメント系下地調整塗材1種)

ラフトンファイラーは、広範囲に使用できる、薄塗りタイプのJIS A 6916建築用下地調整塗材・セメント系下地調整塗材1種（下地調整塗材C-1）認定品です。

特長

1. 硬化物は強じんで、付着性に優れます。
2. 肉ヤセが少なく、優れた充てん効果があります。
3. 仕上塗材を汚染するエフロレッセンスを抑制します。
4. ぜい弱な下地を均一に強化し、仕上材の耐久性、防水性を向上させます。
5. 保水性がよく、薄塗りでもドライアウトしません。
6. 新築、改装と幅広く使用でき、吹付け・はけ塗り・こて塗りが自由に使い分けできます。
7. 速硬性のため工期の短縮、作業能率アップになります。

用途

- 打放しコンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル・コンクリートブロック面の全面地付け、吸い込み止め
- 打放しコンクリート・PC部材の不陸・段差・巣穴の補修
- ノロ引きの代替
- 改装下地の補修、下地ごしらえ

性能

試験項目		試験結果	規格 (JIS A 6916)
軟度変化 %		0	-20~20
耐ひび割れ性		合格	ひび割れない。
耐衝撃性		合格	ひび割れ及び剥がれない。
付着強さ N/mm ²	標準養生	1.0	0.7以上
	低温養生	1.0	0.5以上
吸水量 g		0.8	2.0以下
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは0.7以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断 した場合は0.5以上とする。
	付着強さ N/mm ²	0.8	

標準施工仕様

混ぜ合わせ

塗 材	吹付け	ブラシ塗り	こて塗り
ラフトンファイラー 粉 体	20kg	20kg	20kg
混和液	10kg	10kg	10kg
清 水	8~10kg	8~10kg	—

- 混合前に混和液を攪拌してください。
- 練り容器に混和液を入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら粉体を徐々に加えてください。
- 空気の巻き込みや、ママコが出来ないように十分練り合わせてください。
- 施工方法に合わせ、必要な清水を加え粘度を調整してください。

施工要領

工 程		施工方法		
下地処理		● 施工前の下地処理に準じてください。		
下地調整	施 工	吹付け	ブラシ塗り	こて塗り
		ラフトン1号ガン、口径4mm 吹付圧力0.35~0.45MPa	左官用ブラシ セメント刷毛 ナイロン刷毛	左官用こて パテペラ
	標準所要量 (セツト当り) (厚み)	0.7~1.0kg/m ² (30~42m ²) (約0.4~0.5mm)	0.7~1.0kg/m ² (30~42m ²) (約0.4~0.5mm)	0.8~1.7kg/m ² (17~37m ²) (約0.5~1.0mm)
養生期間		24時間以上 (23℃) 放置後、仕上塗材を施工してください。		

● 吹付圧力の単位1MPa=9.8kgf/cm²

- 混合した材料は夏期1時間以内、冬期2時間以内にご使用ください。
- 巣穴の多い下地への吹付けは、吹付け後ブラシですり込むように塗り付けてください。

注意事項

施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。

荷 姿

- ラフトンファイラー粉体……………20kg(クラフト紙袋入り)
- ラフトンファイラー混和液……………10kg(石油缶入り)

施工前の下地処理

1. 下地表面のほこり・土砂・油污れは、除去・清掃してください。
2. 下地の突起物・レイタンス・離型剤などは、ワイヤーブラシ・サンダーで取り除いてください。
3. 改装の場合は、ぜい弱部分・劣化旧塗膜をケレン除去し、水洗いをしてください。
4. 露出鉄筋・欠損部分・大きいひび割れ・段差・木コン跡などは、事前にラバモルF（ポリマーセメントモルタル）などを用いて補修してください。

施工上の注意事項

1. 2材形の製品は、粉体と混和液を必ずセットでご使用ください。
2. 他の充てん材、添加剤、樹脂液などの混入は、性能低下の原因になりますので避けてください。
3. 気温が高く下地が極端に乾燥している場合や、吸水性が異常に大きい下地の場合などは、あらかじめ適度の水湿しをしてから施工してください。
4. 気温が3℃以下の場合は、施工を避けてください。
5. 施工直後に降雨が予想される場合、冬期で白華の発生が懸念される場合、塗り付け後早期乾燥が予想される場合などは施工を中止するか、シート掛け、板おおいなどの処理をしてください。
6. 各材料の養生期間は十分に取、次の工程に移ってください。
7. シーリング材や防水材の面には、完全に付着せず、ひび割れなどを生じることがありますので、使用を避けてください。
8. カタログに記載されていない下地や仕様で施工される場合は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの事業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- セメントを含んでいるため、目に入ったり、濡れた皮膚に接触するとアルカリ性により軽い炎症を起こすことがありますので、取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 粉体の取扱い時、粉じんを吸入しないよう風上から作業してください。また多量に取扱う場合は集塵機を設置するなど環境への流出を防止してください。
- 粉体が漏出したときには、保護具を着用し、ほうき・スコップあるいは吸引装置を使用して処理してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、砂等を散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密封し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。また粉体は水硬性ですので直接地面に放置しないでください。特に下記場所の保管は避けてください。

水濡れ厳禁

 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 袋物の取扱い時、荷崩れのないように、また衝撃を加える、引きずるなどの行為をしないでください。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート（SDS）をご参照ください。